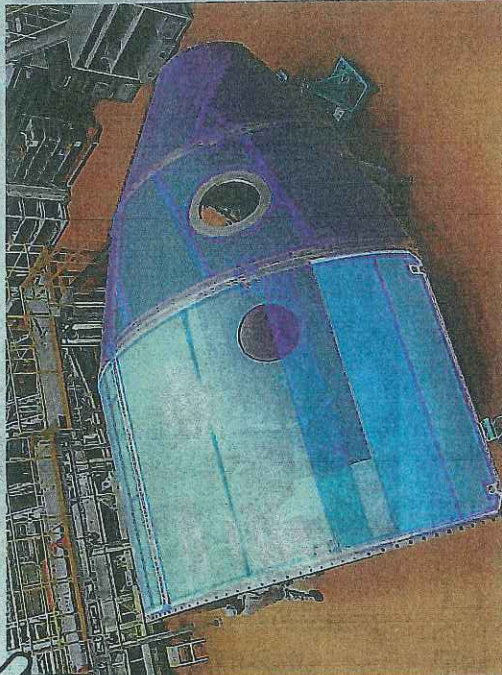


ものづくりの現場、人々紹介

播磨町は、町内の企業など、ものづくりの魅力を紹介する動画「播磨町～夢を支えるものづくり～」を作った。人工島の新島などに集まる企業の製品や、イチゴ栽培、ノリ養殖などの農水産業が人々の夢の実現をいかに助けているかに着目して編集した。(伊丹昭史)



川崎重工業のロケット部品製造場面

ネルを持って登場する。新島の川崎重工業が宇宙ロケットの先端部分を製造している様子を紹介。女子高生の「人を喜ばせたい」との夢にはイチゴ農家が登場し、イチゴケーキを食べて笑顔で過ごす家族の様子が映された。

ノリ養殖や豆腐店、水耕栽培など町内の十

数社を映像や写真で紹介。総合版は日本語、英語と中国語の字幕も付けた。

動画は町内の小中学校や町郷土資料館、R土山駅南に4月オープン予定の複合商業施設「R-VI(ビィ)土山」の交流スペースなどで上映予定。4月には町のホームページでも視聴できる。

水耕栽培を紹介する場面



人口減対策に取り組む地方創生の一環として町への愛着を深めてもらう狙い。町外へのPRのほか、大学進学などで町外に出る若者に将来、Uターン就職してもらいたいことも目指す。

動画は昨年1月に撮影を始め、2月に完成した。

総合版(10分)と女子高生版(3分)があり、企業などが町民らの夢をかなえるという設定。少年が「うちの人としゃべりたい」と書いた入

播磨町が魅力発信へ動画

新島のロケット部品イチゴ栽培...

参考



町の施策をPRするオレンジ色の冊子―播磨町役場

播磨町は、町外から通う会社員らに町内に移り住んでもらおうと、町施策をPRする冊子を作っ

た。きめ細かい子育て支援策や、防災機能を持った公園整備のほか、主要都市へ行きやすい便利さなどの魅力を紹介。町は、人工島の新島にある企業約60社などに配り始めた。

人口減対策に取り組む地方創生の一環。国勢調査によると、町内の従業者数は1995年の4932人をピークに減少している。最新の調査でも、町外からの従業者が全体の7割近くを占める。

冊子はB5判87で、5万部を印刷。鮮やかなオレンジ色の表紙

播磨町が施策PR冊子

をくりぬき加工し、次ページに載っている町民の顔を見られるユニークなデザインにした。冊子は、地元の不動産業者からも好評を得ているという。4月からは町内の約1万3千戸にも配る。

担当者は「町民に施策を再確認してもらうとともに、町外の人には町の魅力を知ってもらい最終的には住んでもらいたい」と話している。同町役場 ☎079・435・0355 (代表)

(辰巳直之)

町外からの通勤者に移住呼び掛け

神戸新聞 2016年3月17日(木) 朝刊

きっと住みたくなる播磨町

播磨町は、町内への移住を呼び掛けるPRポスターを作った。大中遺跡公園と人工島・新島の海を撮影した写真2枚で、古代体験の魅力や豊かな自然をアピール。4月以降、自然をアピール。4月以降、自然をアピール。4月以降、自然をアピール。

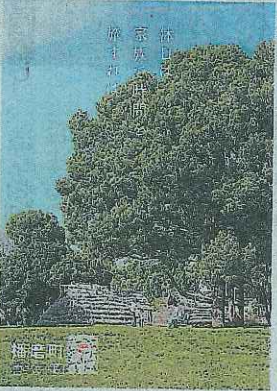
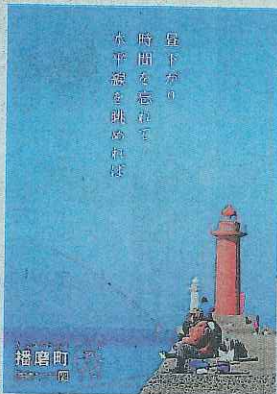
「まちの魅力、自然アピール」

移住呼び掛けポスター作製

町は「播磨町のことを広く知ってほしい。ポスターがそのきっかけになれば」としている。町企画グループ ☎079・435・0356(伊丹昭史)

降に鉄道駅やバスの広告、県の移住相談窓口「カムバックしようご東京センター」(東京)などで掲示する。人口減少対策に取り組む地方創生の一環。町の認知度を高めようと、B1判とB3判を製作して、水平線を眺めれば」の文言を配した。

「昼下がりに、時間を忘れて、水平線を眺めれば」



播磨町が作ったPRポスター